

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10583003				
授業名	政治社会と行政問題 C	形態	講義	単位	2
担当教員	田邊 亮				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	月曜4限		
授業目的	現代の政治社会におけるさまざまな問題（総理大臣の選び方、官僚と天下り、選挙のしくみ、多数決による決定の問題、行為や政策の正しさの考え方など）に関して、できるだけ身近な例を取り上げて、その背景・原因・解決策と一緒に考えていくとともに、政治の世界を少しでも身近に捉え、自分自身の見解を思考できるようにする。				
授業内容	<p>本授業の内容は、大きく3つのテーマから構成される。</p> <p>第1のテーマは、政治社会にかかわる主体についてである。政治の世界を「本人と代理人の関係」と整理した上で、「内閣総理大臣、国会議員、官僚、利益集団とは、どのような人たち・集団なのか？どのような仕事をしているか？」などについて学修する。</p> <p>第2のテーマは、政治社会に存在する固有の問題である。「多数決による決定に問題はないのか？」、「民主主義社会においては、多数派の利益ではなく、集団に所属する少数の人々の利益の方が実現されやすいのか？」などについて学修する。</p> <p>第3のテーマは、正義（行為や政策の正しさ）をめぐる問題である。「一部の人を犠牲にして社会全体の利益を促進することは許されるか？」、「自殺や売春を強制的に止めさせることは正しいか？」、「貧困問題を解決するために、お金持ちに高い税率で税金を収めさせることは正しいか？」といった様々な道徳的なジレンマに対して考える。</p>				
到達目標	政治・政治学に関する基礎知識を習得することに加えて、問いに対する自分の主張を考え、論拠を有した形で提示できるようになることが目標である。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式で授業を進めるが、いくつかのテーマに関しては、アクティブラーニングの手法を導入して、グループワーク、ディスカッション形式で授業を進めるので、受講者の積極的な参加を期待する。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	<p>授業内容すべてを網羅する特定のテキストはないので、授業時に適時、指示する。授業では、毎回、レジュメを配布するので、必要な事項や説明を補い、自分なりのノートとしてまとめる形で学習し、提示された参考文献に当たり、理解を深めてほしい。</p> <p>政治学の基礎的なテキストとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ ・ 北山俊哉、他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ <p>を提示するが、上記の2冊で、授業内容をすべて網羅することはできないので注意してほしい。</p>				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加態度（挙手による発言、リアクションペーパー、グループワーク） ・ 授業内試験（第15回の授業内に実施） <p>によって評価する。</p>				
評価基準	授業参加態度：20点、授業内試験：80点の計100点満点とする。				
試験・レポート等のフィードバック	授業回で提出されたリアクションペーパー、レポートについては、原則、次回の授業時に返却し、解説を行う。				
注意事項及び履修条件	事前学習と事後学習をしっかりと行うこと。テレビ・新聞・インターネットを通じて、政治に関わるニュースを見聞きしておくこと。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業内容、成績評価の方法などを確認する。
授業内容	<p>授業のガイダンス</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業目標と授業内容の確認 ② 成績評価の方法の確認 ③ 受講に当たっての注意事項の伝達
事後学習	授業内で提示された用語の中で、意味や内容がわからなかったものをテキストやWEBで調べて理解しておく。
参考文献	

第2回	
事前学習	「政治」という言葉から思い当たる事柄をまとめておく。「政治」という言葉の意味をテキストやWEBで調べて確認しておく。
授業内容	

	(1) 「政治」とはいかなる意味か、政治の定義について学修する。 (2) 「政治学」とはいかなる学問分野かについて学修する。
事後学習	政治とはいかなる意味か、政治学とはいかなる学問分野かについて、説明できるようにまとめておく。また、政治に関するいくつかの事象を取り上げて、政治の定義を用いて説明できるようにする。
参考文献	北山俊哉, 他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

第3回	
事前学習	アメリカの大統領の選出方法をテキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	アメリカの大統領という政治的リーダーを選出する方法, および, アメリカの大統領制の特徴について学修する。
事後学習	アメリカの大統領の選出方法を自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	北山俊哉, 他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

第4回	
事前学習	日本の総理大臣の選出方法をテキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	日本の内閣総理大臣という政治的リーダーを選出する方法について説明し, 「日本の内閣総理大臣は, なぜ短命な場合が多いのか?」について, 大統領制と議院内閣制という制度の特徴などから考察する。
事後学習	「日本の内閣総理大臣は, なぜ, 短命な場合が多いのか?」について, 大統領制と議院内閣制という制度の特徴より, 自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	北山俊哉, 他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

第5回	
事前学習	日本の衆議院議員と参議院議員を選出する選挙制度について調べておく。小選挙区制と比例代表制という選挙制度の特徴, 長所と短所を調べておく。
授業内容	小選挙区制と比例代表制という2つの代表的な選挙制度の特徴を確認した後, 日本の国政選挙で採用されている選挙制度について概説する。また, 「なぜ, 政党は, 芸能人や元スポーツ選手などのタレント議員を候補者に立てるのか?」についても考察していく。
事後学習	小選挙区制と比例代表制という選挙制度の特徴, 長所と短所をそれぞれ表にまとめて整理, 理解しておく。
参考文献	北山俊哉, 他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

第6回	
事前学習	集団(家族, クラス, サークルや部活など)における決定の方法には, どのような方法があるかを考えてまとめておく。
授業内容	多数決による決定は, 民主主義の象徴と捉えられるが, はたして多数決による決定に問題はないのであろうか。多数決をめぐる問題として, 累積多数決, 定数不均衡, 投票率の問題といった決定の問題について学修する。
事後学習	多数決をめぐる問題が発生する原因をもう一度まとめ直し, 身近な事例における決定の問題を自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	授業時に配布したレジュメを参照

第7回	
事前学習	「いじめが1人の生徒に対して行われていることにより, 他の生徒たちが仲良く生活できるクラスがあったとする。この場合, いじめの存在は許されるか?」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方1 I・カントを代表的な論者とする道徳主義の思想, J・ベンサムを代表的な論者とし, 「政治の目的は最大多数の最大幸福の実現にある」と唱える功利主義という思想を説明する。
事後学習	功利主義とはどのような思想かについて, 功利の原理, 最大多数の最大幸福といったキーワードをもう1度確認し, 整理する。

参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書
第8回	
事前学習	「人間には自殺をする権利があると言えるか？ また、他の人間は、自殺を無理やり止めさせる権利があるか？」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方2 R・ノージックを代表的な論者とし、個人の自由を特に重視するリバタリアニズム（自由至上主義）という思想を説明する。
事後学習	リバタリアニズムとはどのような思想かについて、自己所有権といったキーワードをもう1度確認し、整理する。
参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書

第9回	
事前学習	「収入の多い人からは高い税率，収入の少ない人からは少ない税率で税を徴収することは正しいか？」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方3 J・ロールズの正義論について説明する。 累進課税制度の維持・廃止に関して，グループワークを実施する。
事後学習	累進課税制度の維持・廃止に関して，功利主義とリバタリアニズムの考え方に基づき，自分の見解をまとめる。
参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書

第10回	
事前学習	「官僚とは，どのような人たちか？」，「天下りとは，どのようなことか？」について，テキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	官僚とはどのような人たちか，官僚の仕事は何か，天下りは悪いことか，などについて概説し，政治社会においていかなる役割を担っているかを考察する。
事後学習	政治社会において，「官僚」が果たす役割の良い面と悪い面について，自分なりに説明ができるようにしておく。
参考文献	北山俊哉，他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男，他『現代政治学』有非閣アルマ

第11回	
事前学習	「議員とは，どのような人たちか？」について，テキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	議員とはどのような人たちか，議員の仕事は何か，政党とは何か，政党の役割とは何か，などについて概説し，政治社会においていかなる役割を担っているかを考察する。
事後学習	政治社会において，政党が果たす役割の良い面と悪い面について，自分なりに説明ができるようにしておく。
参考文献	北山俊哉，他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男，他『現代政治学』有非閣アルマ

第12回	
事前学習	「利益集団とは，いかなる集団か？」について，テキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	利益集団という政治過程の代表的なアクターの特徴や活動を講義した後，政治家＝官僚＝利益集団という三者からなる「鉄の三角同盟」が，社会にどのような影響力を及ぼしているかを学修する。
事後学習	「なぜ，世の中には，国民にとっては不利益となるような規制がさまざま存在するのか？」という問いに対する答えを，「菓のネット販売の規制」を例に，関係する3つのアクターとそれぞれがなぜ密接な関係にあるかを明らかにした上で説明できるようにまとめておく。
参考文献	北山俊哉，他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男，他『現代政治学』有非閣アルマ

第13回	
事前学習	「なぜ日本のお米は高いか？」について考えてくる。
授業内容	日本のお米の値段が高い理由などを例として，少数の優位，集合行為問題の発生より説明する。
事後学習	フリーライダー，少数の優位といったキーワードをもう1度確認し，集合行為問題について整理する。

参考文献	北山俊哉, 他『はじめて出会う政治学』有非閣アルマ 加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ
------	---

第14回	
事前学習	「福祉国家とは、どのような国家か？」について考えてくる。
授業内容	「福祉国家とは、どのような国家か？」について、夜警国家と福祉国家の2つの国家観、日本の社会保障制度、福祉国家の歴史を確認した後、福祉国家レジームの3つの類型をそれぞれ説明し、日本はいかなる類型に位置付けられるかを考察する。
事後学習	福祉レジームの3類型より、日本の福祉国家としてのあり方（社会保障制度）の特徴と問題点をまとめる。
参考文献	加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

第15回	
事前学習	これまでの授業内容を復習する。国内政治と国際政治の共通点と相違点をテキストやWEBで調べてまとめておく。
授業内容	授業内試験を実施する。その後、試験のフィードバックを行う。 国際政治の世界の特徴を説明し、現代の国際政治の主要な課題（内戦、テロ、貧困、疾病、飢餓、環境など）について議論する
事後学習	「なぜ、国家と国家は協力することが難しいか」という問いに対する答えを、国際政治と国内政治の相違点、安全保障のジレンマより具体的に説明できるようにまとめておく。
参考文献	加茂利男, 他『現代政治学』有非閣アルマ

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-（1）> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-（2）> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（3）> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（4）> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--